

第4章 今後の5年間に取り組むべき施策

I 未来をたくましく生きる力を育む教育の推進

1 小中一貫教育の推進

(1) 全中学校区における「小中一貫教育」の推進と充実

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
小6の中学校入学前の不安感	53.2% (H25)	漸次 				40% 未満
	実績	56.9%	55.2%	60.0%		

H29の達成度
B
平成28年度に比べると、不安感が4.8%上回っている。入学後の不安感は前年度より改善しているため、入学前の不安感を減らす手立てを講じていく。

(2) 「英語力向上プラン」事業の充実

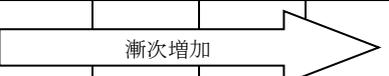
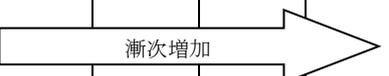
項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
英語検定試験 中学校卒業時の 3級以上取得率	24.3% (H25)	漸次増加 				40%
	実績	25.2%	23.0%	34.8%		

H29の達成度
B
今後も継続した指導を繰り返していく。(参考H26 26.1%)

2 知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の推進

(1) 確かな学力の育成

ア 学ぶ楽しさや喜びを味わう授業づくり

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
標準学力検査 (NRT)の偏差値平均結果 (全国を50とした場合)	小学校 51.0 (H26)	漸次増加 				52.0
	実績	51.2	51.0	50.9		
	中学校 49.0 (H26)	漸次増加 				51.0
	実績	48.8	49.9	49.3		
家庭学習時間 「学年×10分 +30分以上」	小学校 47% (H26)	漸次増加 				70%
	実績	66.2%	72.8%	70.0%		
	中学校 55% (H26)	漸次増加 				80%
	実績	62.0%	57.5%	58.2%		

H29の達成度
B
全小中学校で学力向上を図る継続的な取組を推進する。
B
今後も授業力向上に向けた研修を継続していく。
A
今後も家庭学習の充実について啓発に努める
B
家庭学習の充実について啓発に努めるとともに、家庭との連携に努める。

イ ICT利活用の推進と充実

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
教職員のICT活用指導力の「活用できる」評価	平均 75.7% (H26)	漸次増加 				85%
	実績	81.9%	83.2%	82.4%		

H29の達成度
B
平成28年度より0.8%下回っている。今後もICT活用指導力向上に向けた研修を継続していく。

(2) 心の教育の推進

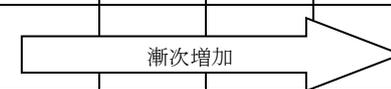
ア いじめ問題や不登校への適切な対応

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
学校に行くことが楽しいと感じる児童生徒の割合	96.1% (H25)	漸次増加 				100%
	実績	97.3%	97.7%	98.0%		
不登校の出現率(中学生)	1.56% (H26)	漸次 				1.00%
	実績	1.55%	1.67%	1.34%		

H29の達成度
A
ここ3年間は、大きな変動なしである。(参考H26 97.8%)
A
昨年度から減少している。人数で換算すると現状を維持している。

(3) たくましい体の育成

ア 学校・家庭・地域が一体となった体力向上の推進と充実

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
全国を100としたときの児童生徒の体力・運動能力	97.67 (H26)	漸次増加 				100
	実績	97.73	96.27	96.75		

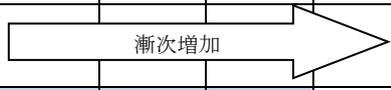
H29の達成度
B
昨年度から微増である。全小中学校で体力向上を図る継続的な取組を推進する。

エ 歯と口腔の健康づくりの推進

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
フッ化物洗口実施校数	22校 (H26)	漸次増加 				全学校
	実績	47校	全学校 48校	全学校 44校		

H29の達成度
A
全学校で実施体制が整ったので、継続して推進していく。

オ 学校給食の充実

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
市内産青果物の活用	15.5% (H25)	漸次増加 				20.0%
	実績	17.4%	12.0% (米を含む)	16.0% (米を含む)		

H29の達成度
C
青果物は生産量、価格等により同一規格品を安定的に確保することが難しい状況にあるが、米については、市内産米の利用拡大を図ってきている。

3 教育環境の充実

(2) 教具・教材及びICT関連設備の整備

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31	H29の達成度
児童・生徒用タブレットパソコン導入率	16% (H26)					100%	B
	実績	29%	31%	36%			

II 地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進

1 地域の教育力の向上

(1) 学校支援ボランティア事業の推進

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
学校支援ボランティアの登録者数、実施件数	222人 81件 (H26)	漸次増加				400人 350件
	実績	453人 394件	448人 525件	471人 676件		

H29の達成度
A
ボランティアの登録者数は、微増状態であり、実施件数も増えている。更なる充実を図る。

(3) コミュニティ・スクールの導入促進

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置数	1 (中学校区) (H26)	漸次増加				5 (中学校区)
	実績	1	2	5		

H29の達成度
B
他地区でも設立準備を進めている。

3 総合的なネットワークの連携強化

(2) 少年愛護センター活動の推進

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
(市民アンケート) 青少年の健全育成が図られていると思う市民の割合	70% (H26)	漸次増加				75%
	実績	53%	59%	56%		
地域の青少年（健全）育成会の活動回数、活動人員	133回 12,168人 (H26)	漸次増加				140回 13,000人
	実績	136回 12,250人	139回 12,804人	150回 13,147人		

H29の達成度
C
「青少年育成の日のつどい」や街頭パトロール等を通し、健全育成に係る啓発活動の促進を図る。
A
街頭補導、交通安全指導等の地域活動を通し、地域で子どもを見守る意識の向上を図る。

(3) 「少年自然の家」における活動の充実

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
少年自然の家利用者延人数	37,395人 (H25)	漸次増加				38,000人
	実績	39,473人	41,068人	39,707人		

H29の達成度
A
森の遊学館の利用者増。家庭教育学級及び子ども会等への出張指導など生涯学習関係の利用が増加した。

夏・冬のアドベンチャー参加人数	98人 (H26)				100人
	実績	100人	100人	100人	

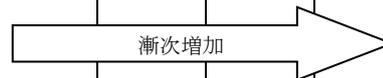
B

目標は達成できた。更に、ふるさとに根ざした活動の充実を図っていく。

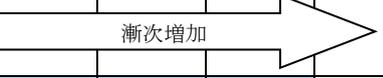
Ⅲ 生涯学習の充実をめざす環境づくりの推進

1 生涯学習の展開とネットワーク化

(1) 公民館等における生涯学習の充実

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31	H29の達成度
日頃、生涯学習に取り組み、生きがいや充実感を感じている市民の割合	52% (H25)	漸次増加 				77%	C 広報誌等を活用し、市民大学講座等の更なる周知を図る。
	実績	44%	46%	43%			
生涯学習に取り組みやすい環境が整っていると 思う市民の割合	70% (H26)	漸次増加 				74%	C 広報誌等を活用し、市民大学講座等の更なる周知や講座内容の工夫に努める。
	実績	58%	59%	54%			

(2) 図書館機能の充実と読書活動の推進

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31	H29の達成度
中央館・分館蔵書冊数 (各年度末)	232,017冊 (H25)	漸次増加 				260,000冊	B 適切な除籍により配架スペースを確保し、魅力ある蔵書構成に努める。
	実績	247,063	255,246	252,783			
中央館・分館貸出冊数(年間)	320,087冊 (H25)	漸次増加 				330,000冊	C 図書配置の工夫や所蔵図書の活用、来館につながる広報の充実を図る。
	実績	311,087	305,541	300,712			
月あたり読書量 [小学校]	11.6冊 (H25)	漸次増加 				増加	C 昨年度(H28)と比較し微増ではあるが、各学校の読書推進週間を通じて更に読書量が増加するように促していく。
	実績	13.3	10.3	10.6			
月あたり読書量 [中学校]	3.08冊 (H25)	漸次増加 				増加	C 昨年度(H28)と比較し微増ではあるが、各学校の読書推進週間を通じて更に読書量が増加するように促していく。
	実績	4.4	2.9	3.0			

2 生涯学習を進めるコーディネート機能の充実

(1) 人材バンク等の活用

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31	H29の達成度
すてきびと登録者数	67人 (H25)	漸次増加 				増加	B 広報誌等で事業の周知を図るとともに、登録者の活用促進を図る。
	実績	65人	66人	67人			

3 家庭の教育力の向上

(1) 家庭教育学級の充実

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31	H29の達成度
家庭教育学級参加者（年間）	5,956人 (H25)	漸次増加 				増加	C 児童生徒数が減少する中、研修テーマや学級行事を工夫することで参加者の維持を図る。
	実績	6,016人	6,108人	5,821人			

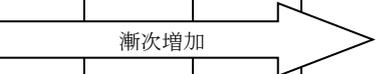
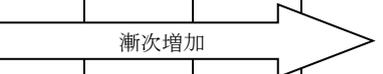
IV 誇りと愛着のある地域文化の保存・継承・活用

1 文化財等の保存・継承・活用

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
国・県・市指定文化財件数	177件 (H26)	漸次増加 				180件
	実績	183件	188件	187件		

H29の達成度
B
国、県、市指定文化財については、今後、件数が増加する方向で協議中である。

2 文化活動の推進

項目	現状の数値	H27	H28	H29	H30	H31
地域の歴史や文化に関心があると回答した市民の割合	65% (H26)	漸次増加 				75%
	実績	61%	61%	65%		
文化・芸術に親しむ環境が整っていると思う市民の割合	55% (H26)	漸次増加 				70%
	実績	49%	49%	48%		
川内歴史資料館・川内まごころ文学館・入来麓旧増田家住宅等の入館者数（年間）	34,000人 (H25)	漸次増加 				37,000人
	実績	35,253人	28,056人	28,139人		

H29の達成度
B
企画展等の充実を図ると共に、インターネット等の情報発信を含む広報活動に、積極的に取り組む。
C
企画展等の充実や興味を持たせる工夫が必要であり施設等の改善も含めインターネット等の情報発信を含む広報活動に努める。
C
集客性の高い企画展や興味を持たせる工夫が必要である。学校行事や授業の中での取組等を働きかける必要がある。